

天塩

納沙布

知床

久摺

十勝

夕張

後方羊蹄

松浦武四郎「北蝦夷余詰」

イクバヌイ・タカイサラ・トキイ・
タケ・イタタ・

石狩

タマサイ

オンラインミュージアム
Online Museum
やっています！



アイヌとは、アイヌ語で「人間」を意味し、また民族名称としても使われます。アイヌモシリは「アイヌ(人間)の地(島)」という意味で、アイヌ(人間)がくらす土地という文脈で使われてきました。本展覧会では、北海道を中心とした日本列島北部周辺の地域を表しています。

入館無料
FREE ADMISSION

AYNU Mosir

The Ainu World : Regional Voices and Cultural Diversity

Special Exhibition

アイヌモシリ

—— アイヌの世界と多様な文化 ——

2025

6.28(土) - 9.23(火・祝)

國學院大學博物館 企画展示室

Kokugakuin University Museum Special Exhibition Jun. 28 - Sep. 23, 2025

[開館時間] 10:00 - 18:00 (最終入館 17:30)

会期中休館日: 毎週月曜日(祝日は開館)及び8月12日~21日

10:00 - 18:00 Last admission 17:30 Closed day: Every Monday
(except for Public holidays) and Aug. 12 to 21, 2025

主催: 國學院大學博物館・國立アイヌ民族博物館

協力: 公益財団法人石水博物館・國學院大學北海道短期大学部

後援: 公益社団法人北海道アイヌ協会

もっと日本を。もっと世界へ。

KOKUGAKUIN UNIV. | 國學院大學





踏査記録 と 民族資料 が並ぶ!

イベント多数開催!

EVENT LINEUP 会場:國學院大學博物館

【ミュージアムトーク】予約不要

I「松浦武四郎と北海道」8月2日(土)15:00～16:00

講師:内川隆志(國學院大學博物館副館長)

II「描かれたアイヌの人々」9月20日(土)15:00～16:00

講師:佐々木利和(北海道博物館アイヌ民族文化研究センター長)

【ワークショップ】by ウポポイ 事前予約制・先着順

I ムックリ演奏体験

7月20日(日)14:00～15:00 [定員:30名] ムックリ代:1,100円

II アイヌ文様を描いてみよう

8月30日(土)14:00～15:00 [定員:20名]

III アイヌ文様の刺しゅう体験

8月31日(日)14:00～15:00/15:30～16:30 [定員:各5名]

【公演】事前予約制・先着順 会場:國學院大學常磐松ホール

アイヌ伝統芸能—歌と楽器—

9月6日(土)17:30～18:30 [定員:200名]

アイヌ文化を知る講座

会場:國學院大學常磐松ホール

国立アイヌ民族博物館の研究者が渋谷に!

9月6日(土)13:00～16:30 [定員:200名]

「北方諸民族とアイヌ文化」佐々木史郎(国立アイヌ民族博物館館長)

「アイヌ語のさまざまな方言と地名」小林美紀(国立アイヌ民族博物館)

「アイヌの表」宮地鼓(国立アイヌ民族博物館)

事前
予約制
先着順



AYNU Mosir The Ainu World: Regional Voices and Cultural Diversity



NATIONAL AINU MUSEUM
国立アイヌ民族博物館

国立アイヌ民族博物館は、アイヌ民族の誇りが尊重される社会をめざし、多くの人にアイヌの歴史や文化を伝え、アイヌ文化を未来へつなげていくために、北海道白老町に設立されました。https://nam.go.jp

ブンカラ協働展示とは

アイヌ文化でつながる博物館等ネットワーク事業(愛称ブンカラ)の事業として、国立アイヌ民族博物館と国内74の会員機関が連携協力してアイヌの歴史・文化に関する様々な展示や企画を行っています。

*ブンカラはアイヌ語で「ドウヤサルナシ」などの植物の蔓を意味し、ネットワーク事業の「繋がり」や「広がり」から連想した名称です。

オンラインミュージアム
Online Museum
やっています!



【オンライン展示解説】
講師:国立アイヌ民族博物館&國學院大學博物館
7月26日(土)12:00公開



國學院大學博物館 Kokugakuin University Museum

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 [國學院大學渋谷キャンパス内]

TEL: 03-5466-0359 WEB: http://museum.kokugakuin.ac.jp/

開館時間 10:00～18:00 (最終入館17:30)

【ミュージアムショップ】10:30～17:30

会期中休館日 毎週月曜日(祝日は開館)及び8月12日～8月21日

アクセス

【渋谷駅から】 渋谷駅から徒歩約13分 都営バス(渋谷駅東口バスター・ミナル54番のりば 学03日赤医療センター前行)「国学院大学前」下車

【表参道駅から】 表参道駅(地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線)B1出口から徒歩約15分

【恵比寿駅から】 恵比寿駅(JR山手線・地下鉄日比谷線)から徒歩約15分

都営バス(恵比寿駅西口ロータリー1番のりば 学06日赤医療センター前行)「東四丁目」下車

本展覧会は、国立アイヌ民族博物館(北海道・白老町)の開館5周年を記念し、同館と共同で開催する特別展である。日本列島北部周辺の先住民族であるアイヌ民族は、北海道・樺太・千島列島や、本州東北地方北部などの広範囲に暮らしてきた。そして、独自の言語であるアイヌ語、ユカラ(英雄叙事詩)などの口承文芸、イヨマンテ(クマの雪送り儀礼)をはじめとする伝統的儀礼、特有の模様を施した工芸作品等に代表される豊かな文化を発展させてきたのである。

本展では、江戸時代以降の地誌や民族資料からアイヌ文化の多様性を概観した上で、「北海道(北加伊道)」の名付け親として知られる松浦武四郎による幕末の「蝦夷地踏査記録」や、和人の横暴を描いたルポルタージュ的作品なども紹介。日本の近代化の過程における同化政策等により困窮して文化の伝承が困難となつた事実や、それでも独自のアイデンティティを失うことなく、伝統文化の復興に取り組んでいる現況などについて理解を深め、多文化共生について考えていく機会をしたい。

アイヌモシリ、様々な地方文化 アイヌ民族がくらす土地 に生きる

